

令和元年度 事業報告

公益財団法人 佐倉緑の基金

【当法人の目的】

広く市民の自発的な参加と協力を得て、自然環境の保全を図ることにより、多様な生物の息づく佐倉の原風景と文化を後世に伝え、持続的で豊かな暮らしに寄与することを目的とする。

【公益目的事業】

- 1) 野生動植物及びその生育生息地、並びに優れた里山景観の保全事業
- 2) 自然環境の保全のための調査研究及び監視事業
- 3) 自然環境の保全に関する情報収集並びに啓発普及活動
- 4) 自然環境の保全に関するボランティア活動の推進事業

【事業説明】

1. 野生動植物及びその生育生息地、並びに優れた里山景観の保全事業

野生動植物及びその生育生息地の保全を目的とし、里山の保全整備、希少種の生息環境整備等を行う。

(1) 自治体や活動団体と協働して行う、里山の保全整備等

市内の重要な自然環境保全区域において、草刈り等による保全整備、希少種保護等を行う。

①佐倉市下志津・畔田地先（仮称佐倉西部自然公園）

ア. 畔田谷津下流域

面積 約 10ha、管理作業延べ人数・日数 68 人・73 日

成果

- ・2007 年春からの地道な活動により、美しく懐かしい里山景観が維持された。
- ・市民が主体となって、佐倉市、(公財) 佐倉緑の基金および東邦大学里山応援隊との協働により、保全活動が推進された。
- ・草抜きや畦の草刈り等により、今年もサシバの採餌に適した環境が維持され、順応的管理と外来の生物の除去に努めたことで、今年度も生物多様性の高い自然環境が保全された。
- ・子どもたちが畔田谷津に親しむ姿が多く見られるようになった。

課題

- ・近年、台風の勢力が増大傾向となり、強風と豪雨が頻発するようになり、下志津側で土砂崩れが発生した。
- ・近年の気候変動が原因か湿地の乾燥化が進んでおり、生きものの生息域に影響を与えるようになってきた。

イ. 畔田谷津中流域

管理作業延べ人数・日数 15 人・15 日

成果

- ・農道の草刈りを行っている。現地へ行ける通路として農家や市民に利用されている。

ウ. 植栽台地

場所 佐倉市畔田 47 番地先、面積 約 1.5ha

管理作業延べ人数・日数 17 人・7 日

成果

- ・厚みのある安定した樹林帯にするために植栽したクヌギ・アカマツ等が順調に生育している。

②佐倉市岩富地先（佐倉市谷津環境保全指針モデル事業地）

面積 約 6ha、管理作業延べ人数・日数 46 人・12 日

成果

- ・生きもの田んぼの草抜き・草刈り、雑木林や農道・畦の草刈りなどを行い、生物多様性の高い環境を維持した。
- ・台風 15 号により、林の大木が多数倒れたが、なんとか作業ルートと生物調査ルートは確保できるまでに伐採整理を進めた。

③飯野湿地（飯野字谷津）

面積 約 3700 m²、管理作業延べ人数・日数 29 人・6 日

成果と課題

- ・ハンノキ植栽木は順調に生育している。
- ・外来種ヒレタゴボウは結実する前にほとんど刈ることができ、増殖を抑えることができた。
- ・上流の池は、ヨシを抜くなどして開放水面を維持し、多様なトンボ類の貴重な生息域となっている。今後も適正に管理していくとよい。
- ・着工時期は未定であるが、計画されている道路建設が開始されれば、生きものの生息環境へのダメージが予想される。

(2) 里山の保全整備等

市内の自然環境保全上、必要とされるエリアにおいて、草刈り等による保全整備、希少種の生息環境整備等を行う。

①鷹匠ビオトープ

場所 佐倉市城内町地先、面積 約 2,000 m²

成果

- ・当法人・緑のボランティア登録団体が自主的に保全整備活動を行っており、当法人としてもその活動を継続して見守っていく。

(3) 市民の森協働事業

市民の森協働事業エリアにおける育成樹の見守り、親しみのある森づくりを行う。

場所 佐倉市飯野地先（佐倉市民の森）、面積 約 2ha

管理作業延べ人数・日数 21 人・2 日

成果

- ・高木層の樹冠はシラカシとスダジイに覆われ、北総地域の典型邸な照葉樹林が形成されている。
- ・台風 15 号等の影響で、若い樹木の倒木や枝折れなどが見られたが、古くからあるコナラなどは根元から倒れることはなかった。

課題

- ・アズマネザサの刈り取りは、防犯上必要ではないかと思われる。一方、ウグイスなどの鳥類生息域として残しているエリアもあり、草刈り担当者との調整が必要である。
- ・イノシシの痕跡があり、今のうちに手を打たないと佐倉の農産物にも被害を及ぼすであろう。

(4) 受託事業

市有地の草刈り等による保全整備、希少種保護等を行う。

①カタクリ植生地調査及び保護管理業務

場所：佐倉市上別所地先（カタクリ植生地）、面積 3,272 m²

管理作業延べ人数・日数 39人・5日

成果と課題

- ・今年の開花数は2019年4月1日の調査で4千株を超えた。しかし、9～10月にかけての複数の台風により、2018年に一部はがれていた表層土部分が一気に大崩落してしまった。カタクリはじめ多くの希少種が失われた。今後どのように崩落を防ぎ、希少種の再生をはかるかが大きな課題である。

②下志津五反目谷津生態系保全に係る除草業務

場所 佐倉市下志津地先（仮称佐倉西部自然公園・五反目谷津）、面積 8,300 m²

管理作業延べ人数・日数 92人・15日

成果と課題

- ・2018年度より全谷津低地を当法人が担当しており、散策者にも生きものにも配慮できるようになり、安定した管理が行き届くようになった。散策者も年々増加し市民の隠れた憩いの場となっている。
- ・五反目谷津で保全活動する市民団体もあり、クマガイソウをはじめとする希少種の宝庫として注目されてきた。これら保全活動と連携して、市からの土地所有者への働きかけが推進され、協働の力が発揮されることが期待される。

③畔田 114 番地先除草業務

場所 佐倉市畔田 114 番地先（仮称佐倉西部自然公園）

管理作業延べ人数・日数 9人・5日

成果と課題

- ・台地上では、2013年からの整備が奏功し、明るい落葉樹林、多様なチョウ類・林床植物・キノコ類も見られ、人にも生きものにも良好な環境として維持管理されている。
- ・台風で倒れ伐採された大木や密生したマダケが斜面を覆っている。台地上へのマダケの侵出が進んでおり、数年間の集中した斜面の整備が課題である。

2. 自然環境の保全のための調査研究及び監視

自然環境の保全を目的として、エリア内において、活動・生物調査等の各種調査や巡回監視活動等を行う。

(1) 調査研究

市内里山保全地での活動・生物調査、必要とされる区域での生物調査等を実施する。

①里山保全地での生物調査

- ・市民の森植生調査、飯野湿地生物調査、五反目谷津鳥類調査

②その他市内での生物調査

- ・仮称佐倉西部自然公園（坊谷津生物調査）、佐倉市北西部鳥類ルートセンサス、市内3箇所の樹林調査（馬渡姫宮神社境内林）

③受託調査

西御門環境保全ゾーン生物調査業務

場所 佐倉市西御門地先、面積 9,800 m²、内容 生物調査

(2) 調査研究支援

活動団体による調査研究活動の支援を行う。

希少種保護活動支援事業

- ・市内における絶滅危惧種のうち、自生地がほとんど1か所となってしまった希少種を対象とする。業者による盗掘の恐れがあるため詳細を非公開とする。
- ・対象種15種（植物10種、動物5種）環境省・千葉県絶滅危惧種

(3) 監視事業

当法人の佐倉動植物保護監視員による、市内の自然環境保全に関する監視活動をする。

- ・随時巡回 登録者7（昨年度7）名
- ・期末報告書を作成した。

(4) 役員巡見等

市内の里山の視察をして情報を共有する。

実施日 令和元年10月27日（日）

訪問先 自然環境保全活動の助成先を3か所

白銀小学校区地域まちづくり協議会（大蛇里山）・上勝田タキヤツ・畔田谷津の生命を見守る会（五反目谷津）

参加者 11名（評議員3名、監事1名、理事6名、職員1名）昨年度：13名

3. 自然環境の保全に関する情報収集並びに啓発普及活動

自然保護活動及び緑化活動に対する理解を深めていただくべく事業を行う。

(1) 自然観察・講演会等の開催

自然環境の保全に対して、広く市民に理解していただくため、観察会等を開催する。

①森の自然観察会

開催日 令和元年10月20日（日）

場所 佐倉市民の森

参加人数 子供 12 名、大人 14 名、スタッフ 11 名（農政課 2 名、野草会 6 名、基金 3 名）

共催者 佐倉市農政課

②市民公益活動ポスター展に参加

期間 令和元年 11 月 24 日～令和 2 年 3 月 19 日巡回

主催者 佐倉市市民公益活動サポートセンター

(2) ホームページの更新管理

財団の事業活動に関する情報を公開して自然環境保全に対する市民の理解を深めていただく、
或いは財団の存在を広く知っていただくためホームページの運営を行っている。

現在ホームページ管理をサポートしてもらっている佐倉市シルバー人材センターの協力も得ながら
市民の皆さんに興味を持っていただけるホームページづくりに努める。

(3) 樹木名板の管理

鏑木小路市民緑地では樹木名板、草本名板、マナー看板などの整備を行っているが、引き続き
来園者への情報提供を充実させて、楽しく園内散策ができるような庭づくりを進めたい。
来年度も引き続き樹木名板の整備を継続していく。

(4) 身近な自然環境保全活動助成事業

自然環境保全への市民参加を促進するため、公募による助成事業を行う。

- ・選定委員会を令和元年 5 月 19 日（日）に開催した。

●今年度は 8 団体からの応募（内 3 団体は新規）があったが、継続応募の 5 団体のうち 3 団体
は助成期間が 5 年を超えたことから、改訂募集要項によって助成予算枠（40 万円）の範囲内
で 3 万円を上限として助成を実施。その結果、助成金の総額は 303,700 円となった。

尚、新規助成団体は「畔田谷津の生命を見守る会」「特定非営利活動法人 印旛沼広域環境
研究会」「白銀小学校区地域まちづくり協議会」である。

- ・助成対象団体（団体名、五十音順）

畔田谷津の生命を見守る会、印旛沼広域環境研究会、環境美化 野鳥の森、佐倉里山ガーデ
ィアン、佐倉染井野里山の会、佐倉野草会、白銀小学校区地域まちづくり協議会、人と自然
をつなぐ仲間・佐倉、以上 8 団体

(5) 受託事業

① 鏑木小路市民緑地管理業務

- ・場所 佐倉市宮小路町地先（鏑木小路市民緑地・侍の杜）、面積 2,488 ㎡

●江戸時代の武家の生活を庭のつくりや植栽を通して紹介する施設。

平成 28 年度から一般公開中。「古今佐倉真佐子」記載の植栽ゾーン（真佐子庭園）

佐倉の代表的景観としての竹林ゾーン、佐倉の植物ゾーン、和庭園が整備されている。

- ・主な管理業務（佐倉市との鏑木小路市民緑地管理業務委託仕様書による）

(i) 管理棟前庭・裏庭(実のなる木ゾーン)を含む庭園及び緑地外周の除草・清掃などの日常管理
～413 人・時（延べ 102 人）

(ii) 植栽の管理（低中木、生垣などの剪定）及び一部保護種植物の保全
～92 人・時（延べ 24 人）、他に高所選定作業を一部業者委託

(iii) 緑地の一般公開日の屋敷門の開閉など（50 週）

(iv)管理用住宅、付属設備の日常的な点検、管理など

●地元自治会からの要請もあって昨年度から武家屋敷の公開日と同じく月曜日を除いて開園。
一昨年末より海外留学生向けのイベント(「侍体験」)のコースとして活用され、昨年はキッチンカーでの食事提供を行うなど観光資源としての活用の試みが行われている。

・「わたしの街みどりづくり事業(緑の羽根募金からの助成事業) :

●今年度も約93千円の助成あり。台風で被害のあった真佐子庭園内のツツジやサツキの捕植、生垣の補修などを実施した。

4. 自然環境の保全に関するボランティア活動の推進事業

より活発な自然環境の保全活動を行うべく、ボランティア活動の推進を行っている。

(1) 賛助会会員の募集

財政的に支援いただける賛同者を増やす。

- ・ホームページ、パンフレット及び案内書送付により賛助会会員の募集を行った。
- ・賛助会 会員数 個人20名、団体1

(2) 緑のボランティアの募集と登録

当法人の事業において活動していただけるボランティアを増やす。

- ・ホームページ、パンフレット及び案内書送付により、緑のボランティアの募集を行った。
- ・登録者数 個人36名、団体11
(うち佐倉動植物保護監視員7名、里山隊:個人24名)
- ・活動内容 保全整備作業(緑金里山隊)、生物調査、観察会講師、巡回監視等
- ・五反目谷津のクマガイソウ自生地一帯の竹林整備に関して佐倉市民カレッジでボランティアの募集を行った結果、4名の応募あって作業を実施。(11月21日、12月19日)
今後のボランティアの底辺拡大の参考としたい。

(3) ボランティア活動の支援

草刈機等を必要に応じて購入し、ボランティアへの貸与を行っている。

鷹匠の用具倉庫が、15号、19号台風の際に倒れて破損。来年度更新予定。

5. 役員会等に関すること

(1) 定例評議員会

開催日 令和元年6月16日(日)

内 容

- ・平成30年度事業報告及び収支決算の承認
- ・評議員及び役員の財団の事業運営にかかる費用の弁償に関する規定制定の件
- ・財団の基本財産運用に関する件

(2) 理事会

① 開催日 令和元年5月23日(木)

内 容

- ・平成30年度事業報告及び収支決算の承認

- ・評議員及び役員の財団の事業運営にかかる費用の弁償に関する規定制定の件
- ・財団の基本財産運用に関する件
- ・定時評議員会招集の件

② 開催日 令和2年3月19日（木）

内 容

- ・令和1年度補正予算の承認の件
- ・令和2年度事業計画の承認の件
- ・令和2年度収支予算の承認の件

(3) 当法人の監査

実施日 令和元年5月10日（金）

内 容 平成30年度監査

(4) 理事・評議員合同検討会

開催日 令和2年1月26日（日）

内 容

- ・当年度における事業進捗状況及び執行残について
- ・財団の年間行事予定について
- ・財団の基本財産の運用について
- ・その他

<参考資料>

1. 役員等に関する事項

(1) 評議員 6名

任期：平成28年6月から令和2年6月（定例評議員会終了時）まで

| 氏名 | 住所 | 備考 |
|-------|--------|-------------------------------------|
| 石田 晶久 | 千葉市 | NPO 法人 森林デザイン研究所 理事長 |
| 高橋 昭 | 佐倉市新町 | 臼井文化懇話会会員 佐倉日蘭協会（事務局） |
| 田中 正彦 | 佐倉市鏑木町 | 千葉県立高校教諭、魚類 |
| 原 慶太郎 | 佐倉市王子台 | 東京情報大学教授、景観生態学 |
| 美濃和信孝 | 佐倉市王子台 | 環境カウンセラー（環境省認定）、森林インストラクター、ビオトープ管理士 |
| 松山 洋子 | 佐倉市大蛇町 | 佐倉野草会副会長、自然観察指導員 |

(2) 役員：理事6名・監事1名

任期

理事：平成30年6月から令和2年6月（定例評議員会終了時）まで

監事：平成28年6月から令和2年6月（定例評議員会終了時）まで

| 役職 | 氏名 | 住所 | 備考 |
|--------|--------|--------|-----------------|
| 代表理事 | 百目木 純子 | 佐倉市上志津 | 自然観察指導員 |
| 業務執行理事 | 熊田 英敏 | 〃 井野 | 環境保全整備経験者 |
| 理事 | 安立 退良 | 〃 城 | 環境保全整備及び湧水調査経験者 |
| 〃 | 伊藤 弘輝 | 〃 上座 | 資金運用・財務経験者 |
| 〃 | 栗田 義彦 | 〃 鍋山町 | 植物調査経験者 |
| 〃 | 奥村 充夫 | 〃 中志津 | 環境保全整備経験者 |
| 監事 | 小田 眞二 | 〃 宮前 | 中小企業診断士 |

***議員・役員の選定基準**

：公益法人認定の基準として、公益目的事業を行うのに必要な**経理的基礎**及び**技術的能力**を有するものであることが求められる。

（公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（認定法、平成18年6月）（公益認定の基準）第5条第2項）

(3) 職員

事務局長：熊田英敏、書記：野村美子、近迫佳代子、鈴木美佐子 以上4名

(4) 当法人に登録し事業を支えてくださっている方々の総数

98人（賛助会員、緑のボランティア個人・団体、ただし役員・職員等重複を除く）

2. 役員会等に関する事項

(1) 定時評議員会の開催

○令和元年6月16日(日)

評議員会の目的である事項(議題)

第1号議案 平成30年度事業報告 承認の件

第2号議案 平成30年度収支決算 承認の件

第3号議案 評議員及び役員の財団の事業運営にかかる費用の弁償に関する規定制定の件

第4号議案 財団の基本財産運用に関する件

報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事による職務執行状況
- ・平成31年度の事業計画及び予算の件
- ・令和元年度「身近な自然環境保全活動助成事業」対象団体決定の件

(2) 理事会の開催

○令和元年5月23日(木)

理事会の目的である事項(議題)

第1号議案 平成30年度事業報告の件

第2号議案 平成30年度収支決算の件

第3号議案 評議員及び役員の財団の事業運営にかかる費用の弁償に関する規定制定の件

第4号議案 財団の基本財産運用に関する件

第5号議案 定時評議員会招集の件

報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事による職務執行状況

○令和2年3月19日(木)

理事会の目的である事項(議題)

第1号議案 令和1年度補正予算の承認について

第2号議案 令和2年度事業計画の承認について

第3号議案 令和2年度収支予算の承認について

報告事項

- ・代表理事及び業務執行理事による職務執行状況
- ・基本財産の運用状況について

3. 役員等の出欠状況

| 会議の種類 | 年月日 | 定足数 | 出席数 | 欠席数 | 可決状況 |
|--------|---------|-----|-----|-----|---------|
| 定時評議員会 | R1.6.16 | 6 | 6 | 0 | 原案どおり可決 |
| 理事会 | R1.5.23 | 6 | 6 | 0 | 原案どおり可決 |
| 理事会 | R2.3.19 | 6 | 6 | 0 | 原案どおり可決 |

4. 代表理事及び業務執行理事による職務執行状況の報告（令和1年4月～令和2年3月）

(1) 執行部会 6回

○令和1年5月10日（金）

- ・諸会議日程の確認
- ・助成事業募集の件
- ・今年度委託事業見積もり状況について（消費10%）
- ・市監査（10月4日実施予定）の連絡受け

○令和1年7月5日（金）

- ・決算理事会、評議員会での討議内容の確認と対応について討議
- ・国債の買替について
買替を実行できず、90百万円の償還を受け、これを定期預金に預入した旨を報告
- ・令和1年度の助成事業（8件、303千円の助成を行う件について報告
- ・市の委託業務契約の進捗状況を報告
今年度から裏新町事務所について「市施設の占有許可願」を申請（毎年更新要）
- ・希少種関連の支払方法の改訂（希少種関連は「支払指示書」による旧方式に戻すこととした。）
- ・その他、親子自然観察会に関する農政課との調整など

○令和1年9月6日（金）

- ・市監査委員会監査（10/4）の実施要領の報告及び提出資料の確認
県政策法務課の立入検査（12/17）について報告
- ・親子自然観察会の実施要項報告
- ・役員巡見（10/27）の実施要項の説明
- ・市民緑地「わたしのまち緑づくり事業」の予算枠の照会
- ・野外専門員との来年度里山整備事業方針の打ち合わせについて
- ・ボランティア参加者の裾野拡大のための市民カレッジでのキャンペーンの紹介
- ・事務所書記の時給改訂について協議
- ・基本財産の運用方針について協議

○令和1年11月1日（金）

- ・役員巡検、市民の森親子自然観察会の実施結果報告
- ・市民緑地「わたしのまち緑づくり事業」の見積もり提出の件
- ・市の監査の実施結果報告（指摘事項及びその対応など）
- ・大雨被害（10/27）：上別所カタクリ自生地（斜面）の崩落状況の報告
- ・県の立入検査への対応について協議
- ・合同検討会の実施要領検討

○令和2年1月10日（金）

- ・市による監査の講評への対応の報告
- ・県の立入検査の結果報告（指摘事項とその対応など）
- ・市民緑地「わたしの街みどりづくり事業」実施結果報告
- ・合同検討会実施要領の確認
- ・3月理事会関連調整
- ・来年度の委託作業費単価の改訂について

○令和2年3月6日（金）

- ・市からの受託作業関連報告書の提出状況について
- ・定例理事会（R2.3.19）議題の打合せ・確認
～平成29年度補正予算案、平成30年度事業計画案・収支予算案の検討、
- ・今後の諸会議（決算理事会、助成事業選定委員会）の日程の調整

(2) 役員会等に関する事項

- ・監事による監査 5月10日（金） 13時 財団事務所
- ・助成事業選定委員会 5月19日（日） 14時～ サポセン会議室
- ・理事会 5月23日（水） 10時～ サポセン会議室
- ・合同検討会 1月26日（日） 13時30分～ 中央公民館会議室

(3) その他行事への参加

- ・市民の森自然観察会 10月20日（日）

(4) 財務・書類チェック 6回

○令和1年7月5日、9月6日、11月1日、令和2年1月10日、3月6日

(5) その他特記

○佐倉市の財政援助団体監査（前回：平成28年）

監査：10月4日（金） 監査講評：11月14日（木）

講評に対する改善のための施策等の回答：12月10日

○県の立入検査（前回：平成27年）

立入検査：12月17日（火） 10時～15時

○シンポジウム「クマガイソウの遺伝子を調べて分かったこと」の協賛 5月2日（木）午後

5. 契約に関する事項

| 契約締結年月日 | 相手方 | 締結内容 | 契約金額 |
|------------|-----|----------------------|----------|
| 平成31年4月1日 | 佐倉市 | 鐺木小路市民緑地管理業務 | 429,000円 |
| 平成31年4月6日 | 佐倉市 | カタクリ植生地調査及び保護管理業務 | 222,500円 |
| 令和1年7月1日 | 佐倉市 | 下志津五反目谷津生態系保全に係る除草業務 | 495,000円 |
| 令和1年7月1日 | 佐倉市 | 畔田114管理業務 | 99,000円 |
| 令和1年5月16日 | 佐倉市 | 西御門環境保全ゾーン生物調査業務 | 52,900円 |
| 令和1年12月10日 | 佐倉市 | 鐺木小路市民緑地植栽新植業務委託 | 92,785円 |